

## 第22回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第22回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-13)となった。
- ・前回3月調査値(-26)と比べると+13となり、景気観は持ち直した。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成27年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H27. 3)	見通し (H27. 4-6)	B 現況 (H27. 6)	(B-A)	見通し (H27. 7-9)	現況 (H26. 6)
					前回現況 との対比		
総合	98	-26	-11	-13	13	4	-15
農業	10	-10	20	-20	-10	10	-10
建設業	11	0	0	-35	-35	8	-27
製造業	11	-46	9	0	46	0	0
卸売・小売業	25	-34	-34	-16	18	-8	-21
観光業	9	-20	0	0	20	56	-30
飲食業	10	-50	-20	-30	20	-20	-10
サービス業	22	-19	-14	4	23	0	-5

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
  - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
  - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
  - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い（悪くなる）」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
  - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
  - 「DI」（Defusion Index、デフージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。